

pL^AT_EX ニュース 第 c16 号

2021 年 06 月 発行

作成者： 日本語 T_EX 開発コミュニティ (<https://texjp.org/>)

コミュニティ版 pL^AT_EX 2_ε <2021-06-01> について、pL^AT_EX 2_ε <2020-10-01> からの更新箇所をまとめました。upL^AT_EX 2_ε も同時に更新してください。

1 L^AT_EX 2_ε <2021-06-01> 対応

→参考：texjp.org/platex#96

新しい L^AT_EX 2_ε <2021-06-01> で修正・追加された機能 (ltnews33, ltpara-doc も参照) のうち、pL^AT_EX 2_ε の日本語拡張部分に影響するものに対応を施しました。具体的には、以下が該当します。

- 段落へのフック機能 (Extending the hook concept to paragraphs)
- 書体選択命令 `\selectfont` へのフック機能 (A new hook in `\selectfont`) (これは従来の `everysel` パッケージに相当)
- 新 NFSS への追加修正：シリーズ・シェイプの変更を `\selectfont` まで遅らせる (Change of font series/shape delayed until `\selectfont`)

2 開発版のテストのお願い

特に 2020 年以降、オリジナルの L^AT_EX が活発に開発されており、その変更点が pL^AT_EX に波及するケースが増えてきました。そのようなケースの見落としを避け、かつ、今後 pL^AT_EX に導入するかもしれない修正や仕様変更を事前にテストしていただくことは、予期しないバグの防止につながります。ぜひ開発版のテストにご協力ください。いくつかの方法があります。

最も簡単な方法は「通常のコマンド名 `platex` の代わりに `platex-dev` というコマンドを起動する」というものです。通常のコマンドは「L^AT_EX 2_ε の安定版に pL^AT_EX 2_ε を載せたもの」ですが、`-dev` 付きコマンドは「L^AT_EX 2_ε の開発版に pL^AT_EX 2_ε を載せたもの」に

なります。コマンドラインで直接実行するほか、以下の方法でも利用可能です。

- ローカルインストール不要で、すぐに Web 上で pL^AT_EX を実行できるサービス Cloud LaTeX (<https://cloudlatex.io/ja>) には、2021/05/09 以降、プロジェクト設定に「開発版を試す」という機能が用意されています。これは `platex` の代わりに `platex-dev` を起動するものです。これで、一般のユーザの方々にも開発版のテストに参加していただきやすくなりました。
- T_EXShop や T_EXworks などの支援環境を使用する場合、起動コマンド名に `ptex2pdf -l ...` とある箇所を `ptex2pdf -ld ...` に変更すれば、開発版が起動します。

この方法によって、pL^AT_EX 2_ε が開発版 L^AT_EX 2_ε に非対応の箇所をあぶり出すことができます。

さらに、pL^AT_EX 2_ε 特有の試験的コードを配布する場合があります。T_EX ファイルの冒頭 (`\documentclass` より前) で

```
\RequirePackage{exppl2e}
```

と書くことで、pL^AT_EX 2_ε の開発版コードも上乗せできます。詳細は `exppl2e.pdf` を参照してください。ここには、その他の pL^AT_EX 2_ε の既知の制約事項も記載しています。

開発版をお試しいただき、T_EX Forum や GitHub の Issue でのバグ報告やご意見を歓迎します。

- <https://github.com/texjporg/platex>
- <https://github.com/texjporg/uplatex>